

## 恵山の火山活動解説資料（平成30年8月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・ 噴気などの表面現象の状況（図1、図2-①）  
Y火口の噴気の高さは火口縁上50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。
- ・ 地震及び微動の発生状況（図2-②③）  
火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。
- ・ 地殻変動の状況（図2-④）  
GNSS<sup>1)</sup> 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図1 恵山 西南西側から見た山頂部の状況（8月26日、高岱<sup>たかだい</sup>監視カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

次回の火山活動解説資料（平成30年9月分）は平成30年10月9日に発表する予定です。

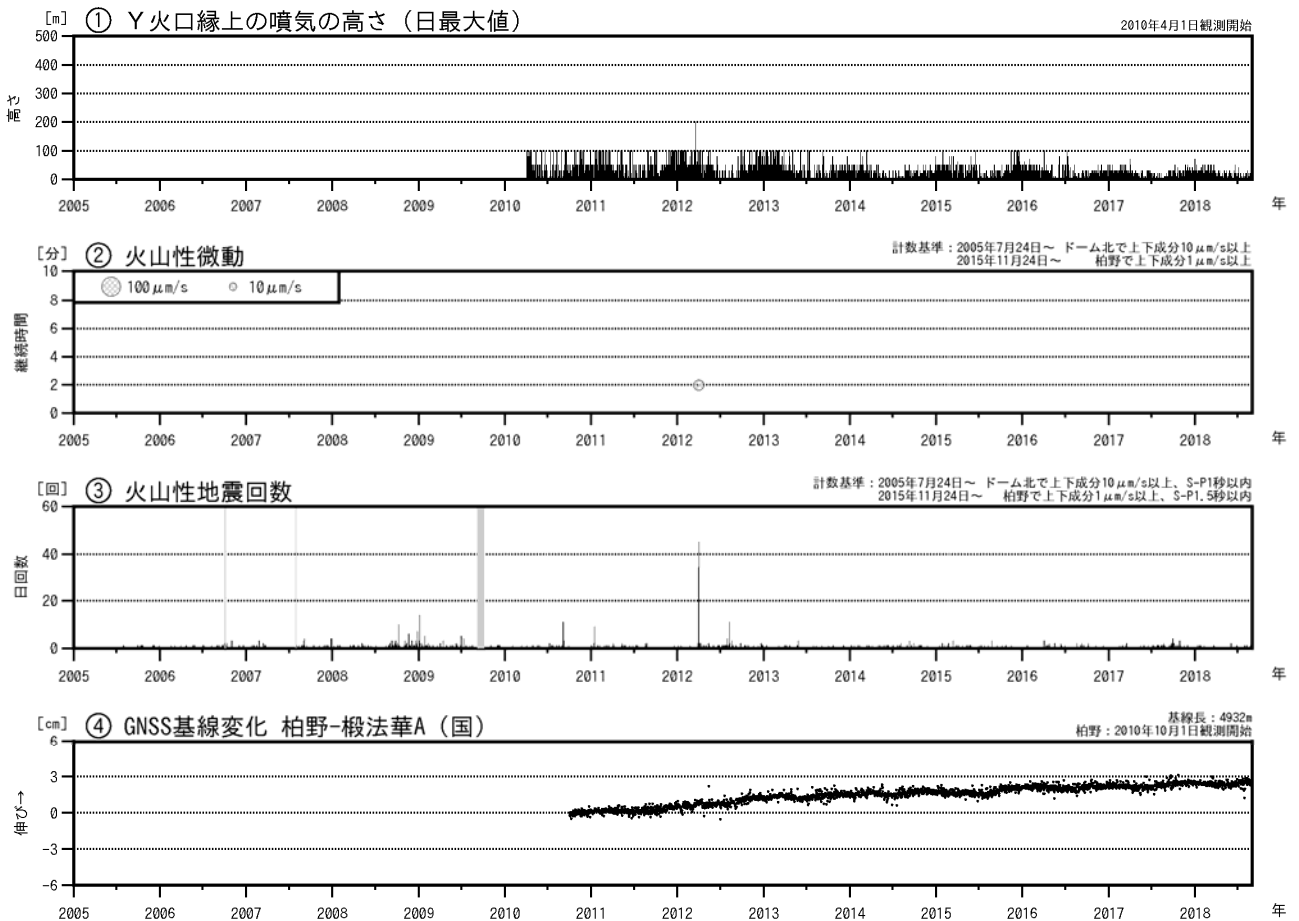


図2 恵山 火山活動経過図（2005年7月～2018年8月）

④のGNSS基線は右配置図に対応しています。  
2015年11月より火山性地震及び微動の計数基準点をドーム北から柏野に変更しています。  
灰色の期間は機器障害のため欠測しています。

- ・④のGNSS基線は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。

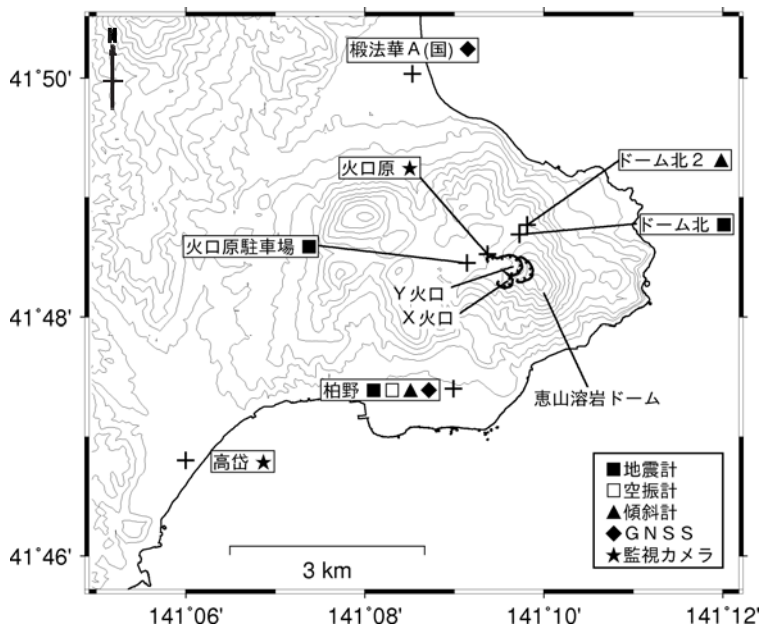
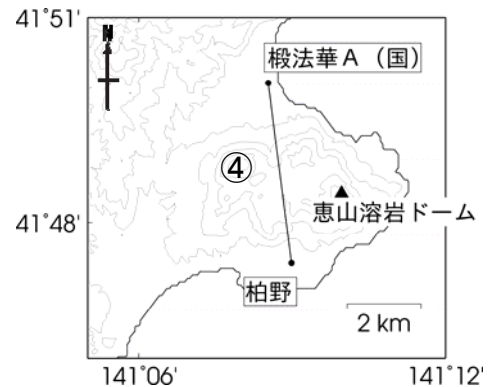


図3 恵山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。  
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。  
（国）：国土地理院